

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3153

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B46	鳥獣保護センター管理運営費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費
事業期間	平成26年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律			戦略項目		
						分野施策	040104 生物多様性保全の推進	
<p>1 事業の概要</p> <p>野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査及び傷病野生鳥獣の保護管理を適正に実施し、さらに人間に危害を及ぼす外来生物を駆除することにより、生物多様性保全を推進するとともに県民の生活環境を守る。</p> <p>工事請負業務における契約差金及び経費節減による減 (2)鳥獣保護センター改修工事費 3,843千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1)事業内容</p> <p>ア 鳥獣保護センター管理運営費 17,763千円 鳥獣保護センター運営を業務委託し、野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査、傷病鳥獣の保護を行う。</p> <p>イ 鳥獣保護センター改修工事費 13,447千円 9,604千円 鳥獣保護センターの外壁改修、屋上防水工事を実施する。</p> <p>(2)事業計画</p> <p>ア 鳥獣保護センターにおける適正な野生鳥獣の保護を継続し、生物多様性の保全を図る。 イ 施設を改修し、業務が滞りなく行える施設環境を整備する。</p> <p>(3)事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人と動物の共通感染症」による人に対する危害の防止 高病原性鳥インフルエンザに感染している恐れがある衰弱個体の検査結果が確定するまでの期間、衰弱個体の保護収容が可能となり、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)による検査体制が確立する。 また、人と動物の共通感染症に感染している哺乳類を保護・収容することにより、人への感染被害を未然に防止し、県民の生活環境を守ることができる。</li> <li>・生物多様性の保全 野鳥の高病原性鳥インフルエンザの検査及び傷病野生鳥獣の保護管理を適正に行うことにより生物多様性の保全が図られる。</li> </ul> <p>(4)補正予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事請負契約の契約差金の発生に伴う減額 3,834千円</li> <li>・経費節減による減額 9千円</li> </ul>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>県(10/10)</p>								
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費(細目)鳥獣行政費 (細節)鳥獣行政費 (積算内容)鳥獣保護事業の実施等に関する事務</p>								
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.7人=6,650千円</p>								
			財 源 内 訳					
予算額							一般財源	補正後の 予算額
決定額	3,843						3,843	27,367
現計額	31,210						31,210	